
緋弾のARIA イ・ウーの時の番人

sarutobi

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

緋弾のアリア イ・ウーの時の番人

【Nコード】

N6627Z

【作者名】

sarutobi

【あらすじ】

緋弾のアリアの二次創作ってイ・ウー側に主人公いることないよなと思っ衝動書きしました。

元大学生が『Black cat』の時の番人の能力をもって転生して 理子と出会いイ・ウーに入るそんな話

初投稿でしかも話自体かくの人生初めてなのでお手柔らかにお願いします。

1話（前書き）

駄文です。

ところで皆さんどうやって主人公の名前とか決めてるんですかね？

1話

「・・・んっ、・・・あれ、とこだこっ」

辺りを見わたすとそこは天井も壁もない真っ白な空間

・・・・・・と美人なお姉さんが土下座していた。

「えっ なにこの状況・・・」

「ごめんなさい!..!」

目覚めていきなりいきなりそんなことを言われても反応に困るんだが・・・

「えっと・・・なにが?」

「え、えつと・・・あの・・・私がちょっと寝てたら・・・私の、よ、よだれで・・・名簿が・・・」

まあ話を聞いたところによると、この美人のお姉さんは神様で、なんか俺達人間を管理してる名簿？

に書いてあった俺の名前がよだれで消えちゃって、そのせいで俺はここにいららしい。

俺弱っ！！ よだれってなんだよ・・・よだれって・・・

「んで、俺はこれからどうするんですか？」

「あれ、怒ってないんですか？」

「まあ、怒ってもなにもかわらないですし。」

それに元の世界にあんま未練ないしなあー

したいこと無いのにとりあえず大学行って無駄な時間すごしてただけだし・・・

「そうですね・・・ありがとうございます。」

それで、貴方にはこれから転生してもらいます。」

「えっ！転生ってあの転生ですか！？
元の世界に戻るんですか！？」

「いえ、申し訳ありませんが・・・それはできません。」

「貴方が転生するのは平行世界、いわゆる貴方の世界でいうところの漫画やアニメの世界になります。
といっても私は位の低い神で、任されている世界が一つしかないの
で転生する世界はきまつてるんですけど・・・」

「はぁ・・・それって転生しないとかってありなんですか？」

「いえ、それはダメですね（キツパリ）。
そうしないと私が上司に怒られるんで。」

「こいつ・・・反省する気あるのか？」

「そうですね・・・
で、どの世界になるんですか？」

「はい『緋弾のアリア』という世界になります。」

いや、どこだよそれ
はあくせつかく転生するんだっいたら自分が知ってる世界がよかった
な・・・

「『緋弾のアリア』？ってどういう世界なんですか？」

「まあ 簡単にいえば、武偵という人達が銃とか刀とかでドンパチ
する世界ですね。あつ、あと超能力とかも。」

オイツ！！それって即死じゃねーか！！
こっちはただの大学生だぞ！！

しかも超能力ってなんだ おかしいだろ！！

「それは流石に・・・俺には厳しいんじゃない・・・」

「あつ、それは大丈夫です。生き残れるように転生する前に貴方の
願いをいくつか叶えることになってますから」

「あつ、でも余りにも世界観壊したり、凶悪すぎるのはだめですよ。」

ふむ・・・それならなんとか生き残れるか

「じゃあ、『Black cat』の時の番人の全員の身体能力と特技、あと武器ってできますか？勿論トレインの能力はレールガンつきで。」

「はい、できますけど・・・それだけですか？」

それだけって・・・俺の中では十分チートな能力を選んだつもりだったんだが・・・どれだけ危険な世界なんだよ・・・

そのあと俺が追加で頼んだものは武器作成の能力と、大量のオリハルコン、武器などを気軽運べる能力それと不老（不死じゃない）だった。

7

「わかりました。それでは、すぐに転生できますけどどうしますか。」

「えっ、もうできるんですか！？
じゃあお願いします。」

すると、目の前に現れた真っ黒な歪んだ空間から10mはあろうかというワニが大きな口をあけながら出てきた

あー・・・やっぱりこれってあれだよ・・・

「え、えつと・・・これは？」

「ワニ型転生機テンテンくんです！口の中に入れば転生完了です。今回はいろいろご迷惑をおかけしてすみませんでした。では、中にお入りください。」

やっぱりか・・・てゆうか テンテンくんて・・・まったく『く
ん』て顔してないんだが・・・

うわっ！！こっちくんな！こないてください！こないでくれるとう
れs・・・ギヤアアアアアアーーーーー

そうして、俺の第二の人生が始まった

B A D E N D

「んっ……どこだっ……」

辺りを見渡すと、今度は森の中だった。それとあと置き手紙が一枚。とりあえず俺はその手紙を手に取った。

『この手紙を見てるってことは無事転生できたんですね。実はあの転生機5%くらいの確率で失敗して、時空の狭間に飛ばしてとじこめちゃうんですよね！。』

まあそれはおいといて、今貴方のいる場所は私にもわかりません。転生場所はランダムですから。本当は転生っていったら赤ちゃんから始まるというのが普通なのですが、今回はこちらの不手際でしたのでサービスで元の体のままにしておきました。

武器に関しては気軽に持ち運びたいということでしたので、お金と生活必需品とともに貴方の影の中に閉まっておきました。まあつまり影を使う超能力者ってところですね！。

説明は以上です。では第二の人生をお楽しみください。』

5%って結構な確率じゃねえーか。失敗したらどうするつもりだったんだ……？

まあ成功したからいいけど。

それと武器か……俺の影の中にあるらしいけど……とりあえず影の中に手を入れてみるか……

うおっ！！なんだこれ！にゆるにゆるしてて気持ちわる！！

しかも底がどれだけあるか分からないくせに、意識したものを自由に取り出せるし……

はあー・・・まじで漫画やアニメの世界なんだなこじ。

そんなこんなで一週間たった。

えっ！飛ばしすぎだつて？しかたねえだろ、一週間いろんな能力確認したり、影の中確認したり地味なことしかしてねーんだから。作者の技量なめんな！

てか、時の番人の力がハンパない。普通に銃弾で開けた穴に他の弾通せたり、自分の体ほどあるバズーカを軽々持ち上げたり、セフィリアの滅界とかヤバかった。まじで仏像できたんだけど・・・まあ次の日筋肉痛で死んだけど・・・

あとなんか性格が微妙に変わってた。・・・戦闘狂ぽく・・・なんか自分の力を試してみたくてしょうがない。

あつれー？前世では喧嘩もできないチキン野郎だったんだけどな・・・
・ クラントとバルドルの能力のせいかなと勝手に構想。

まあそんなこんなで一週間たったわけだが・・・

今俺の目の前にはボロボロで気絶してる金髪少女がいる。

どうしたものか・・・マジで、ほんとに・・・

G
o
t
o
f
o
r
t
h
e
N
E
X
T

1話（後書き）

読んでくださってありがとうございます。いりました。

設定（前書き）

作者はブラック キャットは漫画しか読んでないので この作品は
アニメにでてきたナンバーズの武器はでてきません。

設定

名前 黒川 タ (くろかわゆう)

身長 178cm

体重 64kg

外見はぶつちやけ黒眼になったトレイン。普段の装備は、装飾銃『ハーデイス』と振動ナイフ『マルス』を腰に装備している。必要に応じて影から武器を取り出す。身体能力能力に関して言えばHSSより上。

でも思考能力は劣る。

影に関しては物しかしまうことができず、超能力としてのレベルが低い。ため常時能力を使っているても大丈夫という設定。

『特技』

変装

NO.？のシャオリーの特技 セイレーンを使うことで顔だけでなく全身変装可能

『武器』

NO.？クライスト

形状：剣

ナンバーズのリーダー、セフィリアが使用

No. ? グングニル

形状：槍

ナンバーズの副リーダー、ベルゼーが使用

No. ? マルス

形状：ナイフ

戦闘狂のクランツが使用。

柄についたボタンを押すことで刃が超振動し切れ味が格段に上がる

No. ? デイオスクロイ

形状：トンファー

ナンバーズ奇襲暗殺チームケルベロスのメンバーであるナイザーが使用。

No. ? エクセリオン

形状：鋼線仕込みグローブ

ナンバーズ奇襲暗殺チームケルベロスのメンバーであるジェノスが使用。

No. ? ヘイムダル

形状：鎖付き鉄球

クランツ共々戦闘狂と言われるバルドルが使用。

鉄球に四つのブラスターが装備しており、手元のスイッチを押すことで自由に操作することができる。

No. ? セイレーン

形状：羽衣

魔術師の異名を持つシャオリーが使用。
戦闘のみならず変装にも使用される等、オリハルコンシリーズの中で一番便利な武器。

NO.??ウルスラグナ

形状：バズーカ

ケルベロスのメンバー、ベルーガが使用。
三発しか装弾できない。
弾切れ後はハンマーとして使用できる。

NO.??ハーデイス

形状：装飾銃

主人公トレインが使用する。
装弾数六発のリボルバー式

『技』

レイルガン
電磁銃　　ナノマシンによって進化した細胞の細胞放電現象によって銃弾を超高速で発射する。でも1日4発限定。あと使つと腹がへる。

ブラッククロウ
黒爪

接近戦の技。ハーデイスでの高速の打撃。

ブラッククロス
黒十字

黒爪の攻撃を交差させて繰り出す技。

桜舞 おつひ

達人でも会得するのに10年はかかると言われる無音移動術。花びらが舞うような動きで敵を翻弄する。

雷霆 らいてい

すっげー突き

滅界 めっかい

高速で突きを放つことにより、突きの壁をつくり食らった者は痛みも苦しみも感じず塵と化してしまふ。でも反動が激しく次の日は筋肉痛でうごけない。

設定（後書き）

金一や理子が本来いつい・ウー入りしたのか分からなくて困ってます。
知っている人がいたら教えてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6627z/>

緋弾のアリア イ・ウーの時の番人

2011年12月22日23時47分発行